

木戸病院における「心肺蘇生を行わないこと（DNAR）」に関するガイドライン

新潟医療生活協同組合 木戸病院

2020年1月

このガイドラインは、日常の臨床現場で少なから直面する DNAR（心肺蘇生治療を行わないこと）について、基本的な指針を示すものである。

（厚生労働省：人生の最終段階における医療・ケアの決定に関するガイドラインを規範とする）

1. 心肺蘇生術について

心肺停止時に行う蘇生行為（心臓マッサージ、気管内挿管、人工呼吸器、電気的除細動）のことをいう。心肺停止時に蘇生を行わないことを DNAR (Do Not Attempt Resuscitation) という。

心肺蘇生術は、蘇生の可能性がある場合は躊躇せずに実施される。しかし、癌や難病などで回復の見込みなど困難な患者に対する心肺蘇生術には、慎重になる必要がある。

なぜなら、それは医学的に有効とはいえず、患者や家族に苦痛を与えるだけになる恐れがあるためである。判断に難しい点も多く、家族を含めた集団的討議が望ましいと思われる。

2. 適応対象

当院に入院している終末期の患者およびそれから継続して在宅療養となった患者を主な対象としている。

3. DNAR（心肺蘇生を行わないこと）方針の説明と同意の手続きについて

- 1) 必ず医師が説明をする。医療スタッフが同席することを原則とする。
- 2) DNAR（心肺蘇生を行わないこと）について患者の意思表示を確認する。
患者の意思が尊重されるように考慮する。
- 3) 本人が意思表示できない状態にある場合は、家族間でキーパーソンとなる人を決定してもらい、家族の意思を確認する。キーパーソンは代理判断者である。
 - (1) 家族が本人の意思を推定できる場合は、その推定意思を尊重し、本人にとっての最善の方針をとることを基本とする。
 - (2) 家族が本人の意思を推定できない場合には、本人にとって何が最善であるかについて、本人に代わる者として家族等で話し合い、本人にとっての最善の方針をとることを基本とする。時間の経過、心身の状態の変化、医学的評価の変更等に応じて、このプロセスを繰り返す。
 - (3) 家族がいない場合及び家族が判断を医療・ケアチームに委ねる場合には、本人にとっての最善の方針をとることが基本とする

*医療・ケアチームとは、主治医、看護師、医療福祉相談員、介護従事者等の医療従事者のことである。（人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿う）

- 4) 患者の意思決定能力に疑義があり代理判断者が見つからない時の対応
緊急性がない場合は、担当の医療福祉相談員に代理判断者の検索について相談する。努力して代理判断者を検索しても見つからず、緊急性はないが治療が必要と考えられる場合は、各診療科で検討のうえ、最終的に主治医もしくは各診療科責任者が判断を下し、判断が困難な場合は院長と協議の上、決定する
- 5) 入院時に DNAR の同意書の確認を行っても、入院中や病状変化時ごと（医師の判断のもと）に複数回に渡って、意思の確認を行う。
- 6) 医師・看護師・多職種は、DNAR の指示について定期的に、指示の妥当性を多職種カンファレンスで再評価し、その評価内容をカンファレンスの記録として記載し、スタッフ間で共有する。
参考) カンファレンスで確認する内容
 - ・病状に変化はないか
 - ・患者、家族に心理的变化はないか
- 7) 在宅・施設で DNAR に同意している場合でも、主治医より患者及び家族の意思の再確認を行い、当院のガイドラインに沿って再度同意書に署名をもらう。

4. 心肺停止時に行う蘇生行為に関する同意書

この同意書は患者にとって、その時点で最もふさわしい医療・ケアを本人あるいは家族と共に考え、提供することを意味する。患者、家族には「心肺蘇生を行わないこと (DNAR) に関する説明書」を使用して十分な説明と意思の確認を行い、「心肺停止時に行う蘇生行為に関する説明・同意書」を記入する。これをカルテに保存する。

患者またはキーパーソンより DNAR 撤回の申し出があった時点で、DNAR は取り消しとする。

参考)

(1) DNAR を説明する医師の役割

DNAR に関して、十分な説明を行う。

ここで説明されるべき情報とは、

- ・現在の病状
- ・予測されるべき予後
- ・心肺蘇生行為に関する一般的情報（手法、効果、副作用など）
- ・DNAR 指示の持つ意味
- ・DNAR 指示が出された場合でも、それを根拠として通常の医療の手控えを行うわけではないことの説明
- ・撤回についての説明 などである。

(2) DNAR を説明時の同席医療スタッフの役割

患者の立場に立って、心理的サポートを行うように努める。